

## 平成26年度青少年健全育成施策の主な事業計画について

いじめ、インターネット、薬物乱用など、青少年の様々な問題があるなか、本道の明日を担う青少年が、心身ともに健やかに、たくましく成長する社会の実現に向け、関係機関と広く連携し、一体的・総合的に青少年施策に取り組んでいきます。  
本年度は、次の取組等について、関係機関をはじめ家庭、学校、地域などが一体となってしっかりと取り組んでいきます。

### 基本方針 1：青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり

- 基本的な生活習慣の形成等家庭教育のための情報と機会の提供
  - ・ 青少年育成地域合同会議を道と（公財）北海道青少年育成協会で共催し、道から直接各市町村等に施策を説明
  - ・ 地域の活性化、地域の元気を生み出す契機となるような青少年の活動を支援
  - ・ 青年活動リーダー養成講座を開催し、地域のリーダーを養成
  - ・ 「道民家庭の日」の普及啓発

（青少年健全育成推進事業費補助金 38,069千円）  
【環境生活部】
- いじめ・不登校等対策の推進
  - ・ 北海道いじめ問題対策連絡会議の開催や24時間体制の電話相談の実施、電話相談カードの作成・配付
  - ・ 教育相談員セミナー及びスクールカウンセラー活用事業等の実施

（いじめ等対策支援総合推進事業費 209,523千円）  
【教育庁】

### 基本方針 2：青少年の自立を促す環境づくり

- 青少年の意識・意見の把握、社会への関心・興味の育成
  - ・ 道内の青少年に対し、意識・意見を把握
  - ・ 次代を担う青少年の自立促進に向け、道、道教委、道内経済団体等で構成している「次代の北海道を担う青少年育成協議会」により、日本の次世代リーダー養成塾を活用して、青少年の人づくりの取組（日本の次世代リーダー養成塾への高校生派遣（北海道10名））

（すこやか若人育成推進事業費 1,224千円）  
【環境生活部】
- 青少年の望ましい勤労観・職業観を育てるキャリア教育等の充実
  - ・ 高校生や進路指導教員等を対象に、福祉、農林水産分野など求職と求人のミスマッチが生じている企業・業種に対する理解の促進を図るための見学会を実施し、職業選択の幅を広げるなどキャリア教育を推進

（高等学校就職促進マッチング事業 1,604千円）  
【教育庁】
- 青少年の就職支援の促進
  - ・ 北海道若年者就職支援センター（ジョブカフェ北海道）において、正規雇用を希望するフリーター、若年無業者などに対し、キャリアカウンセリングから適職のマッチングまでの就職支援サービスをワンストップで提供し、若年者の就業を促進

（北海道求職者就職支援センター事業費 118,475千円）  
【経済部】

### 基本方針 3：社会環境の浄化の促進

- 非行・被害防止対策の推進
  - ・ 青少年の非行を防止するため、道民への啓発活動、少年補導員などによる街頭補導や非行防止教室の開催などを実施  
(非行防止特別対策事業 3,473千円、少年補導員等活動促進費 17,990千円、非行防止教室の実施 0千円)

【環境生活部、警察本部】
  
- 薬物乱用防止対策の推進
  - ・ 北海道薬物乱用防止指導員を対象とした研修会の開催
  - ・ リーフレット等啓発資材の作成配付
  - ・ 保健所等の薬物相談担当者の相談技術研修会の開催  
(覚せい剤乱用防止啓発事業費 3,116千円)

【保健福祉部】
  
- 有害環境の浄化の促進
  - ・ 道青少年健全育成条例に基づく有害図書類や有害興行の指定
  - ・ カラオケボックス等各種店舗への立入調査の実施  
(非行防止特別対策事業 3,473千円)

【環境生活部】
  
- 有害情報対策の推進
  - ・ 携帯電話やインターネットの使用によりもたらされる有害情報やトラブルから青少年を守るため、行政、教育関係者、保護者、民間事業者が連携し、道民へ意識啓発
  - ・ インターネット上の有害情報から青少年を守る道民フォーラムの開催(函館市)
  - ・ ケータイ安全利用普及技術養成講座の開催(旭川市、網走市)
  - ・ 啓発パンフレットの作成・配布  
(青少年を取り巻く有害情報対策推進事業 0千円)

【環境生活部、教育庁】

### 基本方針 4：青少年の福祉を阻害する行為の防止促進

- 子どもの安全、安心の確保のための取組の推進
  - ・ 防犯に関するリーフレット等の作成・配付
  - ・ 全道推進会議及びネットワーク交流会の開催
  - ・ 防犯活動推進地区の指定
  - ・ 安全・安心のポータルサイトを通じ、「安全・安心どさんこ運動」への参加呼びかけや参加団体等を紹介  
(犯罪のない安全で安心な地域づくり推進事業費 2,405千円、安全・安心どさんこ運動 0千円)

【環境生活部、教育庁、警察本部】
  
- 児童虐待の予防と早期対応
  - ・ 児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応に向けたネットワークの強化
  - ・ 里親や育児不安を抱える家庭等への支援
  - ・ 市町村の児童相談体制への支援など児童福祉専門機関としての児童相談所の機能強化
  - ・ 一時保護の実施  
(児童虐待防止対策等推進事業費 113,191千円、児童相談所及び一時保護所費 293,622千円)

【保健福祉部】